

令和3年度 第1回君津市総合建設審議会 会議録

名 称 君津市総合建設審議会  
開催日時 令和3年4月23日(金)  
午前10時から午前10時50分  
開催場所 君津市役所9階 議会全員協議会室  
議 題 新しい総合計画 基本構想骨子(たたき台)について  
出席委員 13名  
高橋明 橋本礼子 下田剣吾 佐藤葉子 松本裕次郎 鈴木高大  
伊澤貞夫 石橋定雄 佐久間宏行 天笠寛 関口牧江 川名寛章  
平田悦子  
出席職員 12人  
市長 石 井 宏 子  
企画政策部長 竹 内 一 視  
企画政策部次長 高 橋 克 仁  
企画政策部 企画課 課 長 馬 場 貴 也  
" " 副 課 長 中 村 峰 之  
" " 係 長 山 口 悟  
" " 副 主 査 東 聡 年  
" " 主任主事 石 井 悠 太

公開又は非公開の別  公開 ・  非公開

傍聴者 0名(定員10名)

(高橋企画政策部次長)

定刻となりましたので、ただいまから、令和3年度第1回君津市総合建設審議会を開催いたします。委員の皆様には、ご多用のところ、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

私、事務局を務めております、企画政策部次長の高橋でございます。本日の会議の進行をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、本会議につきましては、新型コロナウイルス感染防止のため、換気の徹底や、パーティションの設置など、3密の回避に努めております。新しい生活様式の中での会議のため、行き届かない部分もあるかと思いますが、ご理解くださるようお願いいたします。

会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。最初に「会議次第」、次に「席次表」は改めて机上に配布させていただいております。

議題に係る資料は、お手元の会議次第に記載したとおり、資料1の基本構想骨子(たたき台) 概要資料2の基本構想骨子(たたき台)、ここまで、お忘れ等、不足はございませんでしょうか。

それでは、続きまして、高橋会長から皆様にご挨拶を申し上げます。

(高橋会長)

おはようございます。本日はお忙しいところ誠にありがとうございます。

さて、本日は、「新しい総合計画 基本構想骨子（たたき台）について」を議題としております。本市のまちづくりにとって重要な案件でありますので、委員の皆様には慎重審議のほどよろしくお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(高橋企画政策部次長)

ありがとうございました。それでは、続きまして、石井市長から皆様にご挨拶を申し上げます。

(石井市長)

皆さんおはようございます。君津市総合建設審議会の開催にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

日ごろから、皆様には、市政各般にわたり、格別なるご支援、ご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

また、全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大とともに、本県の一部自治体に「まん延防止等重点措置」が適用されるなどの状況の中、君津市総合建設審議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

さて、本年度は、市制施行50周年の節目の年であるとともに、新しい総合計画を策定する大切な年でもあります。本日、皆様に、ご審議いただく議題は、この「新しい総合計画 基本構想骨子（たたき台）について」でございます。

新しい総合計画については昨年度から各種アンケート、オンラインによる市民会議、未来ワークショップ、団体ヒアリングやタウンミーティングを実施し市民や事業者の皆様から様々なご意見や提案をいただきました。

本日は、これまでの取組結果を踏まえ、作成した基本構想の骨子（たたき台）を基に、ご審議していただきます。

詳細については、後ほど事務局からご説明申し上げますが、本市のまちづくりの指針となる重要な案件でございますので、皆様の慎重なるご審議をお願いいたしまして、開会に当たっての挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(高橋企画政策部次長)

ありがとうございました。ここで市長は、公務の都合上、退席となりますのでご了承願います。

～市長退席～

(高橋企画政策部次長)

当審議会につきましては、君津市情報公開条例に基づき公開となっておりますが、傍聴者はおりませんでした。

本日の会議出席者は13名です。よって、半数に達しておりますので会議を開催させていただきます。なお、本日は小林委員、小関委員が欠席されております。

さっそく、議事に入らせていただきます。それでは、総合建設審議会条例第5条第1項の規定により、会長に議長をお願いいたします。

(高橋会長)

それでは暫時、議長を務めさせていただきますのでご協力をお願い申し上げます。なお、本日の会議録署名人は関口委員を指名したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、早速議事を進行させていただきます。議題「新しい総合計画 基本構想骨子(たたき台)について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

(事務局)

資料のとおり説明

(高橋会長)

ただいま事務局からの説明が終わりましたが、質疑やご意見等はございますか。

(橋本委員)

何点かお伺いします。以前の総合計画策定時に総合建設審議会に委員として参加していたので、確認の意味で、アンケートを取るといつも出てきます、将来都市像のところ、健康福祉都市、君津は健康都市宣言している市でもありますので、市民の方が健康福祉都市を選んでいるということがございますが、アンケートをどう生かしていくのか伺いたいと思います。

次に、アンケートの中で気がついた点を述べさせていただきます。今回は、まちづくりへの市民参加のところ、是非参加したい、分野によっては参加したいを合わせますと、高い率の方が参加の意思を示している訳ですね。そして、参加しやすい市民活動の企画運営を市に求める割合が58%と最も多くなっているところが、今回気になったのですが、そういったところも次期総合計画に出していただきたいと思っておりますので、どういうところで押さえていくのか伺いたいです。

(高橋会長)

馬場企画課長。

(馬場企画課長)

一点目のアンケートの生かし方の部分でございますが、君津の自然が好きですか、君津が住みやすいですか、ご意見いただいております。そんな中で資料1の2枚目の左側

にキーワードがございます。アンケートの結果のキーとなる部分などについて、掲げております。こういったことを組み合わせながら、将来都市像を作って参りたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

二点目の市民活動の部分については、アンケートの中でも参加したいという意見が多くございました。そういったところから、資料2の14ページ、第3章の5にパートナーシップと掲げさせていただいておまして、沢山の方が君津に愛着を持ってもらうような市民参画を目指して参りたいと考えております。現段階では、総合計画の最上位の部分でございまして、具体の事業はこれから5か年計画をつくる運びとなっております。

(高橋会長)

橋本委員。

(橋本委員)

わかりました。確認ですが、以前は健康都市きみつという言葉が掲げられていましたが、キーワードの安心や安全に含まれていると理解してよろしいでしょうか。市民が将来都市像として描いているものが、総合計画に反映されないと意味がないと思いますので、キーワードとして掲げた中で、具体的に実施計画の中で取り組んでいただきたいと思います。

次にパートナーシップについて、地域共生社会ということが、全国的に言われておりますけれど、共生の部分も文言の中に入っていると思いますので、それについてはたたき台の中で考えられているということで、この視点も書いていただきたいと思います。

最後に、総合計画の中ではどうしても土地の利用が関わってくると思います。総合計画の下の君津市都市計画マスタープランも総合計画を踏まえた見直しが必要になってくるかと思いますが、2015年に計画されて、2035年までの計画となっておりますので、どのように見直していくのか確認したいと思います。

(高橋会長)

馬場企画課長。

(馬場企画課長)

ご意見ありがとうございます。一点目の健康の部分でございますが、将来都市像の幸せですとか、安心というキーワードをいただいているところでございます。大きく捉えればこの中に入ってくるかと思えます。また、繰り返しになりますが、第3章の個別の分野でも当然力を入れていく部分だと考えております。

また、パートナーシップについて、先ほども申し上げましたが、重要な部分でございまして、今後、施策の中で取り組んでいきたいと考えております。

また、三点目の都市計画マスタープランについて、今年度見直しに着手するための予算を頂戴しておりますので、今年度と来年度で総合計画と整合、調整を取りながら、改訂を進めることになると考えております。

(高橋会長)

他にございませんか。下田委員。

(下田委員)

若い職員が頑張って一生懸命考えて作ったかなというところで、今までの計画とは若干違うところがあるなというのが第一印象ですが、未来とか前向きな点は感じました。たたき台の2ページ目の4番の環境、経済のところ、水と緑に誇りを持って、観光やまちづくりに活かすというところで、「君津に」訪れる人が増えていきますとありますが、「君津を」訪れる人なのかなと感じているところなのですけど。

(高橋会長)

馬場企画課長。

(馬場企画課長)

ご意見ありがとうございます。言葉が整っていないところが多分にあると思いますので、修正させていただきます。

(下田委員)

わざと「に」にしたのでしょうか。

(馬場企画課長)

イメージとしては、君津に沢山お越しいただきたいというところがございます、「に」と「を」を厳密に意識していたということではないと認識しております。

(高橋会長)

下田委員。

(下田委員)

やっぱりぼんやりしているところがあるかなというところを、この総合建設審議会を通じて、目標をしっかりと定めていくことが必要じゃないかという風に思いました。

何かというと、今回9年間の君津市の計画になる訳ですが、なぜそれが、若い職員が考えているけれどもぼやとしてしまっているかということ、逆の場合を考えると、会社の場合どうだろうと考えると、君津市の予算は大体毎年300億ですから、9年間でざっくり言っても2,700億のお金を、どの分野に使って、発展に繋がるからこの部分にお金を使うとか、あるいは無駄な部分は削るとか、その取捨選択、お金の使い方をどういう方針にしていくかという視点がちょっと欠けてないですかね。なので、色んな委員から意見をいただいて、君津市はどの分野に投資したらまちが発展するのか。高齢化していく中でも幸せに生きていけるということを考える、そのたたき台にしたいです。

そう考えると、今、橋本先生から健康という言葉が抜けたじゃないかと。やっぱり全国

のまちでいうと健康というキーワードは入れています。普通に行ったら、医療費も介護のお金もどんどん増えてしまうと。そこで、投資すべきは介護になる前に、健康でいただくことが、結果的に市の財政を持続可能にする、そういう視点から入れられています。

2, 700億のお金の使い方の戦略だということがぼやっとしていて、このキーワードもぼやっとしてしまっているのではないかとというのが私の指摘でございます。

具体的に言うと、国は脱炭素を、先行地域100箇所を選んで、例えばタクシーやバスは全部水素を使いましょうとか、そういうことを取り組む市にお金を多くあげますよという風にやっています。君津市は鉄鋼業で栄えたまちですから、炭素をいっぱい使っているまちでもあります。そこが、公用車も市を走るタクシーもバスも全部水素や電気でやりますよと言ったら、鉄のまちがそういう脱炭素に取り組むという非常に良いストーリーになりますよね。ですから、例えば脱炭素に先行して取り組むまちということで提案したいと思います。

一点大事なことなのでお聞きしますが、人口減少、資料1の一番肝心なところ、人口は減りますよということで書いちゃっているのが、私としては懸念があります。つまり、商工会議所さんはじめ、君津インターの周りを開発して、君津市の活力や開発に繋げていこうという視点がある訳ですから、人口が減りますよと宣言している総合計画を持っていて、県とか国が、どうぞ、農地をやめて開発してくださいとなるのか心配なところなので、人口減少を頭にもってこない方が良くはないかと。市として、こういう風にしてしまうと三直インター前の開発がしにくくなるのではないかと懸念がありますが、どうでしょうか。

(高橋会長)

馬場企画課長。

(馬場企画課長)

ご意見ありがとうございます。お金の使い方につきましては、委員仰った通り、君津市は不交付団体でございますが、当然、余裕があるわけではないと考えております。毎年の予算編成も厳しい中でやらせていただいておりますので、行財政の部分につきましては、戦略を持ちながら取り組む考えでございます。

また、人口の部分につきましては、全国の流れの中で、君津市も減少しているところがございます。これを前提とした施設の統廃合を視野に入れなければならないと考えておりますし、ただ、経済とかコロナの状況で、自然の多い君津市にと着目いただいている部分もあるかと思っております。こういったところを呼び込む事業も検討して参りますが、ただ単に人口の減少を待っているわけではなくて、手を打ちながら、人口対策をしていかなければならない、ということは進めて参りたいと考えております。

君津インターについては、本市の魅力をグレードアップする優位な場所にあると考えております。様々な規制があつて、これまで目に見えたことがお示しできていないところがございますけれども、勉強会を重ねさせていただいて、何とかしたい、一歩でも進みたいという考えは持っておりますので、これからも精進して参りたいと考えております。

(下田委員)

本当になるべく頑張りますという意欲が伝わるよう、質問にはなるべく具体的に私たちはこう思っていますと答えていただいた方が、みんなの理解も深まると思うので、是非お願いしたいです。提案ですが、例えば、人口減少を書かざるを得ないというのは、意見は一致すると思います。しかし、石井市長が言ってきたのは、人口減少に歯止めをかけるということですよね。人口減少に歯止めをかけるための、こういうまちづくりが必要だよという書き方であれば、人口減少にも触れることができ、そして、こういう、だからこそ、新しいこういう開発が必要だという記述にもなるかと思えますから、その辺を是非意識して、また次の案を出していただければと思います。

市民の仰っているところで、先ほど健康の話もありましたが、健康も大事だし、例えばこのたたき台にないもので大事なものだとする、やはり時代に合わせるという意味で言うと、高齢者の方、認知症に対して、非常に不安を抱えていらっしゃると思います。本市も徘徊防止のためのタグを無料で配布することになりましたが、認知症の対策ということも、是非キーワードに入れるべきじゃないかなと思います。

もう一つは障害福祉の分野ですけれども、これについても、例えば放課後等デイサービスなど福祉費が2,700億の中でもボリュームを占めていくだろうと。しかし、市民の期待に応えられているかという、不十分な面もありますので、その辺の内容を良くして時代に合わせていくという障害者福祉も、入れた方が良くと思いました。

もう一つ、この10年で変わるものと言え、定年の延長ということで、長く健康で働けることを意識し、うちも君津市版ハローワークをつくりましたが、年金プラスαで働いて、みんなの役に立ちたいという市民の方が沢山いらっしゃいますので、働く高齢者を意識したところを入れていただきたいと思えます。

農業に関しては、今年高橋会長と一緒に農水省に行った時に、荒廃農地利用と言って、これまで君津市では、山間部と市街地の農地を同じように扱うのはおかしいじゃないか、農地を集約しようとしてもきれいな意見がありました。それに対して国が、君津市さんは耕作可能面積が全体農地の7分の1とか5分の1しかないですよ。その中々耕せない部分にミツバチの蜜源の利用だとか、放牧地として活用することで国が補助金を出しますという新制度を始めました。そういうものも是非、新しい国の動きと連関することとして入れていただきたいと思えます。

新しい産業としては、やはり脱炭素ということで、風力発電とか、小水力発電も是非入れていただきたいと思えます。あるいは、観光農業ですね。君津市では最近キャンプ場が非常にお金になっていますので、地域住民の所得に繋げるためにも観光農業やキャンプ場を市として応援していくという点も重要ではないかと思えます。

最後に一点お聞きいたします。今後考えられる市の大きな投資としては、例えば周南公民館や小糸公民館、小櫃公民館というものを交流センターとしてきちんと建て替えて市民の方に拠点として利用していただく点があると思えますが、その点もどの部分に入のかなど。やはり、全部で20億くらいになる投資に対して、今書き込めていない気がしますので、君津市の先ほど話があった都市計画マスタープランでは、各地区の拠点を整備しま

すという言葉がありますので、各地区の拠点をやはり市が整備することで、その地域が衰退しないようにするという点も是非書き込んでいただきたいと思います。

そして、大きな考え方ですが、一点、入っていないものがあると思ひまして、市町村合併に関して、市長も意欲を見せた時期がございます。私個人は反対ですが、それについて、ここに読めそうなところがないということは、自治体として合併は、この10年には中々目指さない、書き込むことではないということであるのかお聞きします。

(高橋会長)

馬場企画課長。

(馬場企画課長)

ご意見ありがとうございます。人口ですとか、認知症、また農業、小水力等につきましては、目指すべき姿などに、こういった視点を盛り込んで、今後、具体的な事業を策定するようご意見いただいたと理解しております。

また、各地区のことにつきましては、現在、将来都市デザインのところでコンセプトや方向性の部分のみご提案させていただいておりますが、次回この会議を開催する時には、各地区のイメージをお示しできるよう考えておりますので、もうしばらく検討の時間をいただければと思います。ただ、方向としましては、各地区に古い施設がございますので、そういったものを見据えながら、各地区の拠点のようなものは必要であると考えております。

合併については、現在こちらでは触れておりませんが、広域連携の視点では、進めていきたいものが個々の事業では出てくるかと考えております。

(高橋会長)

下田委員。

(下田委員)

個々の事業でやるということは自治体としての合併は現時点では考えていないということで理解をいたしました。

最後の基本的な方向性のところで、君津駅と君津インター周辺の核づくりということで、もうちょっとだけ広い視点で見ていただきたいと思いますということで提案ですが、周南地区にある君津スマートインターチェンジ、そして、小櫃地区に近い、木更津東インターチェンジもこれから発展の核となる重要な社会インフラでございますので、そこも文字として入れ込んでいただければと思います。

(高橋会長)

竹内企画政策部長。

(竹内企画政策部長)

土地利用の面で、スマートインター、そして東インターの提案もいただきました。現在、基本的な方向性の中に入っていないけれども、市としましては、当然推進すべき点であるという認識がございますので、また改めてご提示させていただくものと考えております。

そして、事業提案、様々いただきました。それらにつきましては、この基本構想の中で計画していくものと、その下の基本計画の中で検討していくものと様々ございますので、いずれかの中で検討させていただくことを申し添えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(高橋会長)

他にございませんか。平田委員。

(平田委員)

先ほど下田委員が仰っていた人口減少の部分について、資料2の9ページの今後求められる対応の1番目に、人口減少を前提としたまちづくりと書かれていて、気になっていたのですが、そのすぐ上に、市のにぎわいや経済活動の維持、地域コミュニティの活力を継続させていくため、と真逆のことが書かれていて、中々難しいところだと思います。

人口減少が仕方ないという話は3ページでグラフが出されていますが、2030年のちょうど真ん中のところが、今回の計画の最終年度だと思いますが、これを見ていると、人口が減少していくことになってはいますが、下田委員からも話がありましたが、この下り坂を君津市としてどうしていくかが資料の視覚、ビジュアルとして見えていないのはわかりづらいと思いました。

これからの社会、今コロナがあって、ICTが進んで、地方にいても情報が手に入れば住める、そして子育てを自然の中でできるという流れ、まさに波が来ていると思いますので、それを計画として、こういった暮らしができるということのを売りにして、これから定住を増やしていこうという思いがあるのかどうか、この中だとちょっとわかりづらいかなと。

2030年までの計画ということであれば、10年後は何が変わっているのかを考えながら、計画を立てないといけないと思います。なので、この資料の中で、現状の人口の将来見通しだけがあって、ビジュアルとして入ってきていて、これが確実に下がってしまうな、仕方ないなという感じになってしまいますので、出来れば市として、右肩下がりなのを、こういう対策をするからここまで何とかやりますとか、難しいかもしれませんが、こういう風にしていきますとか、ポジティブな感じの資料になれば良いなと思いました。

(高橋会長)

馬場企画課長。

(馬場企画課長)

ご意見ありがとうございます。人口については、ここの中で触れている部分が弱いというか、少ないというご意見をいただいておりますので、今後、君津市として人口減少を諦めているわけではないということをお示ししていきたいと考えております。

(高橋会長)

他にございますか。関口委員。

(関口委員)

目指すべきまちの姿で、企業や大学と連携して、と書いてありますが、君津市には第一次産業が学べる高校が2つあり、強みだと思います。高校とも連携する良い方法があればと思います。

人口減少への歯止めについて思ったのですが、これからは高齢社会ということで、若い人ではなく、高齢者を定住させる、君津市で施設か何かを立ち上げて、そこで働いてもらうことはできないかと感じました。空き校舎ですとかうまく言えないのですが、何か出来ないかと思いました。

(高橋会長)

馬場企画課長。

(馬場企画課長)

ご意見ありがとうございます。高校の部分については、特色があると思っております。公立私学含めまして、連携が必要な部分だと考えておりますので、ご意見いただいた部分については、色々な計画の中で検討させていただきます。

また、高齢者の方々の働く場所についてご意見いただきましたが、空き校舎の活用を含めまして、本市の課題であると考えております。今後事業の中身を深く考えて参りたいと考えております。

(高橋会長)

竹内企画政策部長。

(竹内企画政策部長)

高校との連携について補足させていただきますが、高校生については、大学進学が転出の一つの転機かと思っておりますので、連携は市としても必要な取組であると認識しております。

ご存知かどうかわかりませんが、過去の市税1パーセント支援事業の中でも、近年改めて高校生を対象とした、連携を深める取組をしております。そういった部分も着目して、努めておりますので、今後とも一段と進めていければということで、説明に代えさせていただきます。

(高橋会長)

他にございませんか。よろしいでしょうか。それでは、色々のご意見も出されましたが、皆様のご意見等を踏まえまして、事務局の方で取りまとめをお願いします。以上で議事を終了し、議長の職を解かせていただきます。

(高橋企画政策部次長)

会長、議事の進行ありがとうございました。

ここで1点ご連絡させていただきます。次回の総合建設審議会については、5月の日程で調整をさせていただいておりましたが、大変恐縮でございますが6月の開催へと日程変更をご依頼させていただきます。

後程、日程調整に係るスケジュール票と返信用封筒をお渡しさせていただきますので、大変お手数でございますが事務局へ郵送していただきますようお願いいたします。

それでは、以上をもちまして君津市総合建設審議会を終了とさせていただきます。長時間にわたりましてご審議いただきありがとうございました。

上記、会議録は事実と相違ないと認識し、ここに署名する。

令和3年5月21日

会議録署名人

委員     関口 牧江